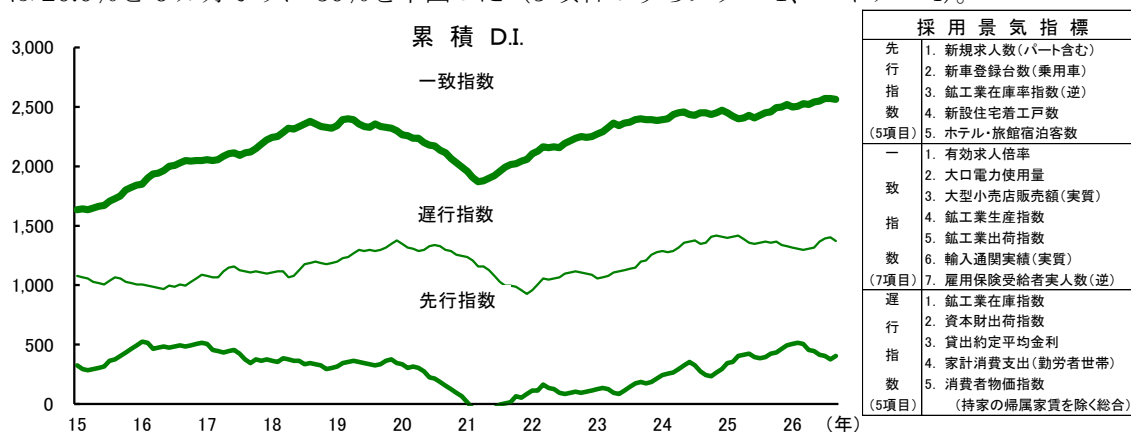


## 1. 景気動向指数

平成 26 年 9 月の景気動向一致指数は、大口電力使用量、大型小売店販売額（実質）、鉱工業出荷指数の 3 項目がプラスとなったものの、全体では 42.9%と 5 カ月ぶりに 50%を下回った（7 項目のうちプラス 3、マイナス 4）。

先行指数は、新規求人数（パート含む）、鉱工業在庫率指数（逆）、新設住宅着工戸数、ホテル・旅館宿泊客数の 4 項目がプラスとなり、全体では 80.0%と 7 カ月ぶりに 50%を上回った（5 項目のうちプラス 4、マイナス 1）。

遅行指数は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）がプラスとなったものの、全体では 20.0%と 6 カ月ぶりに 50%を下回った（5 項目のうちプラス 1、マイナス 4）。



注) 今月の累積DI=前月の累積DI+(今月のDI-50)

一致指数には1,000、遅行指数には600、先行指数には500をそれぞれ加算してある。

資料)宮崎県県民政策部統計調査課

景気動向指数：景気に敏感な経済指標を複数取り上げ、それぞれの値を 3 カ月前の値と比較して増加したものの割合を出したもの。景気の現状を表す一致指数と、一致指数に数カ月先行して動き、景気の先行きを表す先行指数、数カ月遅れて動く遅行指数の 3 つがある。一致指数が数カ月連続して 50%を上回った場合、景気が上昇局面にあることを示す。

景気動向指数の算出方法

景気動向指数 = (プラス項目数 + 横ばい項目数 × 0.5) ÷ (プラス項目数 + 横ばい項目数 + マイナス項目数) × 100(%)

## 2. 鉱工業生産

9 月の鉱工業生産指数は、107.1 で前年同月比 3.2%増と 2 カ月ぶりに前年を上回った。

主要業種別にみると、食料品（前年同月比 0.1%減）は前年を下回ったものの、電子部品・デバイス（同 4.1%増）、化学（同 10.8%増）、繊維（同 7.6%増）は前年を上回った。

## 3. 建設関連

### ① 公共工事

11 月の公共工事請負高は、77 億 6,500 万円で前年同月比 14.6%減と 4 カ月連続で前年を下回った。

発注者別にみると、国が同 28.0%減、県が同 11.7%減、市町村が同 9.2%減、その他（独立行政法人等）が同 52.7%減となった。

### ② 着工建築物

10 月の着工建築物は、棟数 481 棟で前年同月比 25.2%減、床面積は 9 万 8,197 ㎡で同 34.1%減となった。

内訳をみると、居住用は棟数同 33.7%減、床面積同 40.1%減となり、非居住用は棟数同 12.7%増、床面積同 26.8%減となった。

非居住用の床面積を用途別にみると、鉱工業用同 111.9%増、商業用同 44.0%減、サービス業用同 40.4%減となった。

### ③ 住宅着工

10月の新設住宅着工戸数は、547戸で前年同月比36.3%減と8カ月連続で前年を下回った。利用関係別にみると、持家は同30.3%減、貸家は同19.3%減、分譲は80.5%減（マンションは前年110戸→本年0戸、一戸建てが同62戸→34戸）となった。

## 4. 個人消費関連

### ① 大型小売店販売動向

10月の大型小売店販売額は、69億6,700万円で前年同月比0.7%増と3カ月連続で前年を上回った。

商品別では、衣料品は17億5,100万円で同6.0%減、飲食料品は28億8,000万円で同1.4%増、その他計は23億3,500万円で同5.6%増となった。

### ② 乗用車新車販売動向

11月の乗用車新車登録台数は、1,435台で前年同月比23.5%減と3カ月連続で前年を下回った。

車種別にみると、普通車は606台で同24.4%減、小型車は829台で同22.8%減となった。

## 5. 空港乗降客数

10月の宮崎空港乗降客数は、23万7,361人で前年同月比1.6%減と2カ月ぶりに前年を下回った。

乗客数は11万7,742人（前年11万9,967人）と減少し、降客数も11万9,619人（前年12万1,173人）と減少した。

## 6. 消費者物価指数

10月の宮崎市の消費者物価指数は、103.9で前年同月比3.1%上昇した。

これを費目別にみると、食料（前年同月比5.0%増）、家具・家事用品（同5.0%増）、光熱・水道（同4.9%増）など10費目の全てが上昇した。

## 7. 企業倒産

11月の企業倒産件数（負債額1,000万円以上）は、2件で前年同月と同数。負債総額は3億4,000万円で同61.2%減と2カ月連続で前年を下回った。

業種別では、卸売業1件、サービス業1件となっている。

## 8. 雇用情勢

10月の有効求人倍率は、0.95倍で前月から0.02<sup>ポイント</sup>改善した。

新規求人数は、9,067人で前年同月比0.9%増となった。

サービス業（他に分類されないもの）は同36.9%増、卸売業、小売業は同13.4%増、医療、福祉は同6.4%増など9産業が増加となった一方で、教育、学習支援業は同79.0%減、運輸業、郵便業は同35.1%減など7産業が減少した。

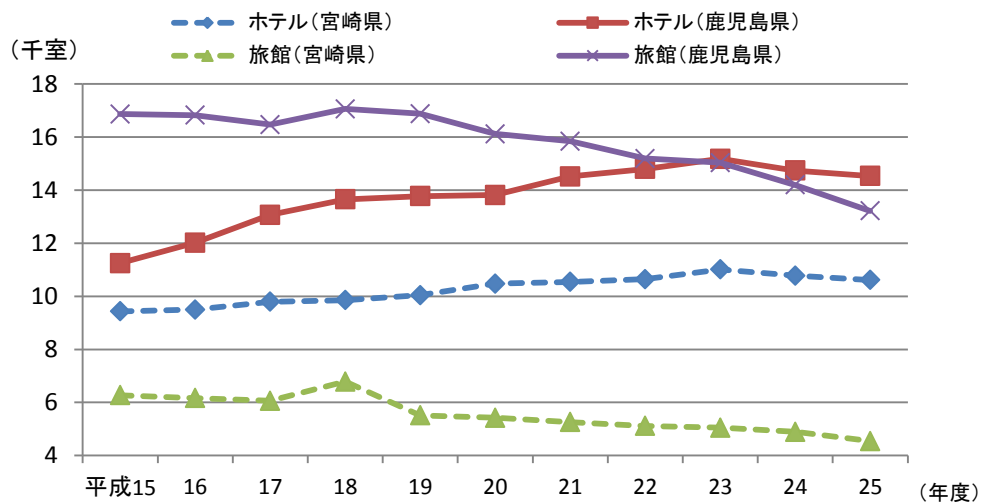
雇用保険受給者数は、5,610人で同7.3%減と29カ月連続で減少した。

## 〈今月のトピックス〉～ホテル・旅館の客室数の推移

厚生労働省がまとめている「衛生行政報告例」によると、平成25年度末時点で、県内で営業するホテルの客室は1万615室あり、前年比163室減少した。また、旅館の客室は4,540室あり、前年比352室減少した。

平成15年度と比較すると、ホテルは客室数が1,180室(12.5%)増加しているに対し、旅館の客室数は1,731室(27.6%)減少している。

ホテル・旅館の客室数の推移



注)年度末現在

資料)厚生労働省「衛生行政報告例」